

歯っぴいらいふ2026年4月号 あたらし歯科医院

歯科衛生士 栩木 誠子

長かった冬も終わり、春がやってきました。  
日本には四季という素敵な春夏秋冬がございます  
植物や動物たちも待ち焦がれていたでしょう  
もしかしたらすでに花粉症でつらい思いをしている方もおられるのではないで  
しょうか？  
今年は2月ごろから早くも鼻がムズムズ目もかゆくなっておられる方も多いので  
はないでしょうか。  
春はウキウキしますがアレルギー症状には悩まされそうですね。  
4月は新生活をスタートされた方もいらっしゃるかと思います。  
素敵な口元で笑顔を届けていきましょう。

矯正治療をしても後戻りがあることをご存じですか？

矯正治療をして良かったと思えることが一番ですが、中には折角頑張って治療をしても元  
に戻ってしまったというお声を聞くことがあります。

後戻りするにはいくつかの理由がありますが、きちんと対策がありますのでそれによりしっか  
り対応していけばほとんどの場合心配はいりません。

実際診療に関わっていると以前矯正で歯並びをきれいにしたが、元に戻ってしまったので再  
治療を受けられませんか？と相談にお見えになる方もおられます。

先月号でも書かせていただいたように、口腔機能療法を取り入れていなかったりすること  
で、間違った飲み込み方が原因で後戻りをしてしまったケースもあります。

**大きくあげると後戻りの原因は・・・**

下顎の旺盛な成長発育により、反対咬合が再発  
保定装置リテーナーの装着がされていなかった  
舌や口唇の癖への対応が不十分  
治療のゴールの設定が低かった

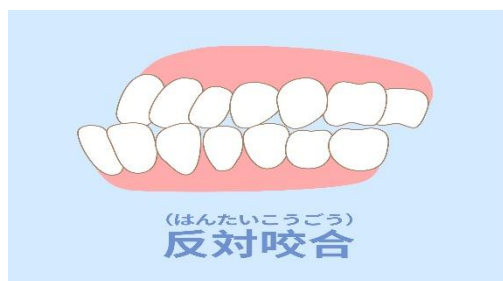


下顎は身長と同じく思春期成長期に大きくなる  
問題としてあるのが、いわゆる反対咬合です。

下の前歯が上の前歯よりも前に出ている場合です。

人は身長がS字カーブを描くように伸びていくのですが、生まれてすぐに大きく伸びしばらくはなだらかでその後思春期成長期と呼ばれる時期に大きく伸びてS字となります。

下顎は手足の骨と同様の伸びをするため、身長と同じく思春期成長期に大きく伸びることとなります。



1期治療で受け口が治っても思春期成長期に再び受け口になることも…

男の子の場合中学生から高校生にかけて女の子の場合小学校高学年から中学生にかけてが思春期成長期になります。

小学低学年で行う1期治療で受け口が治っても思春期成長期に下顎が伸びて再び受け口になってしまうこともあります。

2期治療は下顎の成長を見てから行うことが大切です。

永久歯が生えそろうてから行う本格的2期治療を思春期成長が完全に終了する前に終わると装置撤去後下顎が伸びて受け口の再発とまではいかないにしても、かみ合わせが浅くなってしまうことがあるのです。

注意が必要なのは反対咬合で1期治療が終了しても思春期成長期が終わるまで観察する必要があります。

場合によっては外科手術が必要となるケースもございます。



舌や口唇の癖にも対応が必要な場合があります。

舌や口唇の癖は無視できません 重要な問題です

安静時いつも口唇が開いたままになっている

舌が低い位置にある 歯と歯の間にある

飲み込みの際歯と歯の間に舌を挿入しないと飲み込めなかったり歯を強く押ししたりする

通常は舌を口蓋に押し付けて飲み込むだけなので、歯に力がかからないのですが、歯と歯の間に挟んだり歯を押ししたりすると、力がかかって歯並びに悪影響を与えてしまうのです。

癖のある方の場合には注意が必要で矯正治療を終了した際にはきれいに見えても舌が入るスペースがわずかに残っていて、その隙間がだんだん開いてきて後戻りしてしまうことがあるのです。

歯並びを治すと同時に舌や口唇の悪い癖も治しましょう

このことから矯正治療で装置を使い歯並びを治すことと舌や口唇の悪い癖を治すこと正しい機能を獲得することがとても大切です。

人間は無意識のうちに飲み込みを行っており、練習しても自分のものにするのは難しくかなりの努力と根気が必要です。

しかし原因を根絶しないと問題を繰り返すのは当然と言えるでしょう。

口唇をしっかり閉じる、正しい嚥下をすることはとても大変なことです、折角整えた歯並びを安定させるためには必要であることをご理解いただけたいと思います。

生涯にわたって健康にかかわるより高いゴールをめざして・・・

最近では見た目の矯正、エステや美容外科的に近い感覚でイメージされ矯正をする方が多くなっています。

しかし本当は第一番目の消化器官として生涯にわたり大切な役割を担う口の健康、ここから全身の健康に大きく関連してくることから、大切な医療であるとも言えます。

そのためより高い治療のゴールをめざしてがんばってください。

新生活もスタートし新たな環境で頑張っている方、チャレンジしている方も多くいらっしゃるかと思います。

皆様にとって素敵な毎日と、お口の健康を共に考えていきたいと思います。

歯科衛生士 栩木 誠子